

そらいろ歯科クリニック ニュース第8話

362-0075

埼玉県上尾市柏座4-5-10

048-783-4939

2021年8月25日

最近、マウスピース矯正、流行ってるみたいだけどどう なんですか？ という質問に一般臨床歯科医師として お答えします



僕は矯正医ではないのですが歯科医院、患者様双方のことを考えると、とてもいいと思います。一番のメリットは治療のゴールが双方にとって明確なんですよね。

そもそもマウスピース矯正ってなんぞや？っていうと、3Dスキャナー(歯科用口腔内スキャナー)を用いて今ある歯の状態をPC上に3Dスキャンし、PC上で理想的な歯列形態を段階的に歯を動かしていくマウスピースをPC上で作り、PMMA素材をCADで加工したマウスピースを1日20時間以上装着するものです。患者さん側はクリアマウスピースなので目立ちませんし、薬剤を併用すればホワイトニングもついでにできます。逆に歯科医師側のメリットとして、スキャンさえきちんとしてくれば、後は技工所から現物が送られてくるのを患者様に渡すだけです。診断する作業も簡単に済みます、PCで理想的な歯の移動位置を計算してくれますから。 と、ここまでが一般的な話。

ただし、欠点もあります。重大な事が抜けているんです。それは、表面上での歯並びに対してだけの話で動かす計算をしています。つまり、動かす予定の歯の骨の中に、埋伏している歯があった場合その付近の歯は動きません。また骨格的に成長途中の場合は歯列矯正は可能ではありますが矯正終了後骨格的に成長するとどんどん咬み合わせがずれてしまう可能性があることも否めません。そもそも前述した理由から I 期治療(小児矯正)ではマウスピース矯正はできません。

矯正専門医や矯正認定医は、矯正治療をする場合、まずセファログラムというレントゲンを撮影し、骨格上の基準点を定めそれらを結んで様々な角度から分析、診断していきます。その数値をもとにこの状態は骨格的に過(剰)成長、劣成長を見極めたうえで歯に対してアプローチをしていきます。そもそも矯正についての始まりの概念が違うのです。このスタート地点の違いは非常に大きいです。土台ゼロベースで考えるのと、土台の状況を踏まえた上で治療をするのでは厚みが違います。後は、失敗といいますが、思うように動かなかった場合の修正が矯正専門医では簡単にリカバリーしていますが、マウスピースでは少し修正が難しいのではないのかな？というのが率直な意見です。

歯科医院も3DスキャナーなどIT化が進み始めており、治療法も沢山選択できるようになりました。かかりつけ医や、セカンドオピニオンを利用して意見を聞き、自分の歯は自分で治療方法を選ぶようにしてみるのがいいのではないのでしょうか。 **そらいろ歯科クリニック 院長 小林**

過去のニュースはコチラから →

